

# 研究に協力していただける健康な方の募集

2022年10月27日

アレルギー・膠原病内科

## 抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎の病態形成における I型インターフェロンの役割と産生機構に関する研究

現在アレルギー・膠原病内科では「抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎の病態形成におけるI型インターフェロンの役割と産生機構」に関する研究を行っています。

今後の治療に役立てることを目的に、本研究に参加いただける健康な方を募集しています。

### 1. 今回の研究の対象

- 抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎患者
- 疾患対照群膠原病患者（全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、ANCA関連血管炎、全身性強皮症、シェーグレン症候群の患者）
- 研究に参加いただける健康な方

### 2. 今回の研究に参加していただけるボランティアの対象となる方

- 年齢：18歳以上 性別：不問
- 過去または現在において、自己免疫疾患または膠原病疾患（皮膚筋炎、全身性エリテマトーデス、関節リウマチ、ANCA関連血管炎、全身性強皮症、シェーグレン症候群など）の診断を受けていない方。

（上記以外にも基準があり、ボランティアに参加できない場合がございます）

### 3. 研究内容

皮膚筋炎は筋や皮膚、肺などを脅かす全身性の自己免疫疾患です。皮膚筋炎の患者さんのうち抗MDA5抗体が陽性の方は肺へのダメージが強いことが知られています。疾患の活動性が高くさらなる有効な治療法が望まれています。未だにその病態や適切な治療方法は不明です。MDA5はI型インターフェロンの産生に関わる遺伝子ですが、それが本疾患の発症にどのように関わっているかは不明であり、この関わりを解明することで有効な治療法の発見や治療経過の改善に繋がる可能性があります。

本研究は、当院で抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎の治療を受けられた患者さんの臨床情報や、治療経過

中の血液を調べることで、抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎のメカニズムを解明することを目的としています。

本研究では抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎の治療を受けられた患者さんの特徴を調べるために、健康な方とのデータの比較を行う必要があります。そのため、研究に協力していただける健康な方を募集しています。

#### **4. 研究の方法**

一般診療と同じ方法により、腕から約 20mL の採血を 1 回行います。

#### **5. 募集期間**

2022 年 11 月 1 日～2023 年 10 月 31 日（予定より早く終了する可能性があります）

#### **6. 当院外へお名前や個人情報が出ることはありません。**

必要なデータや情報のみを集計し、個人情報管理には十分に配慮いたします。

※個人情報の管理方法を含め、この研究は当院の生命倫理審査委員会の審査による承認を得た上で実施されています。

#### **7. 報酬について**

この研究に参加していただいたことに対する金銭を含めた報酬はありません。

#### **8. お問い合わせ先**

千葉大学医学部附属病院 アレルギー・膠原病内科（電話：代表 043-222-7171）

千葉大学大学院医学研究院 アレルギー・臨床免疫学

〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

研究責任医師：中島 裕史

担当者：井田 友明